

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 5 年度 第 4 回 川 越 市 協 働 事 業 審 査 委 員 会
開 催 日 時	令和 6 年 1 月 1 8 日 (木) 午後 2 時 開 会 ・ 午後 4 時 1 0 分 閉 会
開 催 場 所	川 越 市 役 所 7 A 会 議 室
議 長 (会 長) 氏 名	遠 藤 克 弥 委 員 長
出 席 者 (委 員) 氏 名 (人 数)	遠 藤 克 弥 委 員 長 櫻 井 晶 夫 副 委 員 長 佐 藤 保 雄 委 員 栃 原 綾 子 委 員 野 本 吉 憲 委 員 藤 井 美 登 利 委 員 米 原 民 子 委 員 柳 内 邦 章 委 員 山 下 利 一 委 員 (9 名)
欠 席 者 (委 員) 氏 名 (人 数)	真 下 英 二 委 員 (1 名)
事 務 局 職 員 職 氏 名	地 域 づ くり 推 進 課 課 長 福 釜 周 二 地 域 支 援 担 当 副 主 幹 増 田 英 雄 副 主 幹 熊 谷 真 一 主 任 森 裕 美
傍 聴 者 人 数	1 人
会 議 次 第	1 開 会 2 委 員 長 あ い さ つ 3 議 事 (1) 令 和 5 年 度 事 業 の 実 施 状 況 に つ い て (2) 令 和 5 年 度 協 働 事 業 の 評 価 方 法 に つ い て (3) 令 和 5 年 度 協 働 事 業 報 告 会 の 開 催 に つ い て (4) 令 和 6 年 度 事 業 の 取 り 組 み に つ い て (5) そ の 他 4 閉 会
配 布 資 料	別 紙 ・ ・ ・ ・ 次 第 資 料 1 ・ ・ ・ ・ 令 和 5 年 度 事 業 の 実 施 状 況 に つ い て 資 料 2 - 1 ・ ・ ・ 令 和 5 年 度 協 働 事 業 の 評 価 に つ い て 資 料 2 - 2 ・ ・ ・ 令 和 5 年 度 協 働 事 業 の 第 三 者 評 価 に つ い て 資 料 3 ・ ・ ・ ・ 令 和 5 年 度 協 働 事 業 報 告 会 実 施 要 領 (案) 資 料 4 - 1 ・ ・ ・ 令 和 6 年 度 協 働 委 託 事 業 の 実 施 予 定 に つ い て 資 料 4 - 2 ・ ・ ・ 令 和 6 年 度 提 案 型 協 働 事 業 の 取 扱 い に つ い て ○ 令 和 6 年 度 川 越 市 協 働 委 託 応 募 要 項 、 提 案 型 協 働 事 業 補 助 金 募 集 要 項 (案) ○ こ え ど 市 民 活 動 ネットワーク プロジェクト 報 告 書 ○ 市 民 活 動 交 流 会 、 川 越 市 提 案 型 協 働 事 業 補 助 金 (チ ラ シ)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開 会 14時00分
	1 開 会
	2 委員長あいさつ
委員長	会議の成立 市協働事業審査委員会条例第5条第2項 会議の傍聴⇒可（傍聴者1名） 原則公開
	3-1 令和5年度事業の実施状況について
事務局	資料1の説明 協働委託事業2件、提案型協働事業8件の現在の状況を説明
委員	1月、川越的場八景蟹ヶ淵再生事業の現場に伺った。サツマイモのできが悪く、カボチャは収穫したものが畑に残っていて、評判がよくなかったと聞いた。
委員	11月サツマイモの収穫の時に伺った。サツマイモはうまくできなかったが来年改善したいとのこと。カボチャについては幼稚園に寄付した残りで形がよくないものが残っていたんだと思う。活動の際の指示等の様子から運営がしっかりしている印象を受けた。
委員	かわごえエコツアーについて今年度は子どもの参加をメインに考えるということだったが、参加人数が少ないように思う。原因を聞きたい。
事務局	所管課に伝えておくので、報告会で聞いていただきたい。

委員長	<p>どの事業も事業を行う時期を考えている。例えば仲町地域交流会活動事業は子どもの参加のため夏休みに実施している。食べ物についても収穫できる時期に限られる。時期に左右されるもの、美術展など会場の空き状況に左右されるものがある。</p>
委員	<p>テレジン収容所の幼い画家たち展に12月に伺った。トークショーをした野村路子先生は作家としてテレジンの本を書いていて教科書にも掲載されている。トークショーは満席で遠方から来た人や出版社の方、若い人も来ていた。講演会にはそれだけの価値がある。提案型協働事業の3回で手放してしまうのはもったいない人材。次のステップを考えてあげたい。</p>
委員長	<p>審査委員会としてアドバイスがあれば役に立つと思う。</p>
事務局	<p>団体からも来年度について相談は聞いている。</p>
委員	<p>南古谷オーケストラで協働事業を3回やった後に県の文化振興課の補助金を案内されて使ったことがある。補助金などは探せばあるので、そういう方向性もある。</p>
委員	<p>川越が手を引いてしまうのがもったいない。文化人の方を大切にしてくまく活動して欲しい。絵画展にこだわらずに野村さんの活動を川越に根付かせて欲しい。</p>
委員	<p>協働事業としてどこまで関われるのかも考えるべき。川越市の部署での検討も必要ではないか。</p>
事務局	<p>地域の人材の発掘は重要だと考えている。市に活動等が知れ渡って繋がっていくという認識。</p>
委員長	<p>協働事業が団体にとってどういうステージなのか見極めながら審査する必要がある。ここからの発信で人に知られたり、市内団体との繋がりもできる。報告会で所管課が他の事業の報告をみて自分の課の事業として考えるきっかけのひとつになるかも知れない。いろんな思いがあると思うので、その思いを繋いであげる委員会のあり方があっていいと思う。</p>
委員	<p>がくどうigoサポート&キャラバン事業の視察の際に担当者が事業を忘れていた。所管課はなにをやっていたのか。協働事</p>

事務局	<p>業が軽く見られていると感じた。もっと所管課を巻き込んでC(評価)A(改善)部分を任せるべき。</p> <p>経緯を説明すると、委員視察を10月の放課後子供教室の事業で実施するよう調整しており、当日審査委員2名が会場に行った。所管課職員はいたが、時間を過ぎても団体が来なかったので職員が連絡をしたところ、団体担当者が失念しており事業が実施できず解散となった。事務局には解散後に所管課職員から連絡があり、事態を把握した。事務局から団体と所管課に対して聴取と注意をした。</p>
委員	<p>こういったこともあるので、協働指針の見直しをもう一度やってみてはどうか。</p>
委員長	<p>見直しの機会を設けてもよいかもしれない。いろんな意味で委員に視察に行ってもらったことには意義がある。</p>
	<p>3-2 令和5年度協働事業の評価について</p>
事務局	<p>資料2-1、資料2-2の説明</p>
委員長	<p>ずっとこの評価方法できているので評価方法も今年度はこの方法でやっていきたい。どうしても加えて欲しいこと等があれば意見を言っていたきたい。</p>
委員	<p>評価方法は問題ないが、事業報告会の時点で事業が終了していない団体进行评估する材料が少ないので、そこまでの収支報告や事業の進行具合についてわかるような資料が欲しい。</p>
	<p>3-3 令和5年度協働事業報告会の開催について</p>
事務局	<p>資料3の説明</p>
委員	<p>職員研修は職員からもいい意見が多かったように思う。会場の都合もあると思うが20人に限らず希望があれば受け入れて欲しい。</p>

委員	過去に職員研修をやった時は参加職員の何人かに感想を言ってもらった。今回も感想を言ってもらうか文書で残すべき。
事務局	今回もアンケートは実施し、第6回委員会で報告する予定。
委員	協働事業には上の人理解が必要なので、階級が上の人に参加してもらいたい。参加してNPO等への理解を深めてもらいたい。
事務局	職員研修は職員課と相談して実施している。権限のある人が参加するのがいいという考えもあるが、30～40代の企画立案する立場の人が参加するのがよいという考えもある。今後そのあたり踏まえて考えていきたい。
委員長	いずれにしても、参加した人が課内で情報共有できるようにして欲しい。
事務局	<p>3-4 令和6年度事業の取り組みについて</p> <p>資料4-1、4-2の説明</p> <p>協働委託事業はこども政策課の子育て情報誌作成と環境政策課のかわごえエコツアーが実施予定。</p> <p>提案型協働事業は今年度比微増で予算がつく見込み。今年度同様補助金上限額は20万円、補助率は2分の1で考えたい。</p> <p>委託事業、提案型協働事業の募集要項は3月の広報で公開予定。なにか意見があれば今月末までに事務局に連絡していただきたい。</p>
委員	所管課の持つ部分大きいと思う。事務局から所管課に期待するものは。
事務局	まずは協働を理解してもらう必要がある。そのために団体から相談があればいっしょに所管課に説明に行ったりしている。
委員	所管課の力をうまく使わないと協働事業はうまく流れていかないと思う。
委員	地域の方に働きかけるのもよい。地域会議など活用の仕方はたくさんある。地域会議も様々な事業を行っていて利用できる

委員	<p>ので、地域会議に連絡をするのもひとつの手。補助金の一覧表を作っておくのもよい。こういう方法もあるというのを提示できるようにしておく。行政のフットワークがよくない、行政と団体、両方のフットワークがよくないといいい協働事業にならない。</p> <p>川越市には市民活動サポートセンターがない。ないならいなりに市の中でコーディネーターとしての役割を担うべき。社協の助成金などアンテナをはって、いろいろな情報を持つべき。</p>
委員長	<p>応募要項で過去に実施した事業がわかるようになるとうよい。協働の概念がどんなものなのか理解が必要。また、3回事業が終わった後の費用対効果はどうなのか。社会の中にどう残ってきたのか確認できていない。ムダ金にならないように終了後の報告も問い合わせるとよい</p>
事務局	<p>3-5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こえど市民活動ネットワークプロジェクト報告書について <p>平成29年度から令和4年度まで委託事業として実施してきた内容をまとめた。</p> ・市民活動団体交流会について <p>12月1日に公益財団法人いきいき埼玉と共催で市民活動団体交流会を実施した。来年度もいきいき埼玉との共催事業を検討していく。</p> ・今後の日程 <p>第5回 協働事業報告会 2月13日(火)午後1時 ウエスタ川越1階 多目的ホールC・D</p> <p>第6回 令和5年度継続事業審査 3月25日(月)午後2時 やまぶき会館1階 A会議室</p>

委員	<p>こえど市民活動ネットワークプロジェクト報告書に委託額の記載がない。内容も必要だが、費用対効果が必要。協働事業の審査票にあるような評価の視点を持つべき。</p>
委員	<p>今後の課題やネットワークをつくるために必要なことなど、これからのことについて記載がないのであった方がよい。</p>
副委員長	<p>5 閉 会</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 16時10分</p>